

諏訪きぬ先生のご退職に寄せて

— 感謝を込めて —

齋藤 政子

本年3月末をもってご退職され、人生の一区切りを迎えられることとなった諏訪先生のこれまでのご尽力に対し、心から敬意を表し、感謝の言葉を述べさせていただきます。

諏訪先生は、短期大学・四年制大学における保育士養成に通算31年間携わり、質の高い保育者の養成に貢献されただけでなく、平成15年度に開設された本学保育士養成課程の設立に際し、準備期間から中心的な役割を果たされました。

保育士養成、幼稚園教諭の養成を、保育現場から信頼の得られるものにしようと、本学の実習教育の先頭に立ち、四年制大学ではまれな組織的な指導プログラムを作り上げることに心血を注いでこられました。近年、明星大学の保育者養成は丁寧で信頼感があると現場から評価していただけるようになったのも、また、「明星大学に保育あり」と大学内外に認知していただけるようになったのも、諏訪先生のこれまでのご尽力の賜物と感謝しております。

私自身は、保育界で大活躍されている大変高名な方として、大学院生時代から諏訪先生を存じ上げていました。院生の頃に、日本教育学会や日本保育学会などの会議でお話しさせていただくと、品があって頭がさけるだけでなく、とても豊かな美しい言葉をお使いになる方だという印象を持ったことを覚えています。明星大学で一緒に仕事をさせていただくようになり、諏訪先生には、チームワークの大切さ、最後まで気を抜かずに仕事をすることの重要性など、多くのことを学ばせていただきました。ご自身の広い人脈を活かし、ゲストスピーカー制度を活用して、大学教育と保育現場との連携を図ってこられたり、保育・教育セミナーを平成15年度に開催し、以来その成功に力を注いでくださっていたことも、明星大学という名前の認知度をあげ、本学の保育者養成を一層充実させることにつながったと考えております。

また、諏訪先生は、中国、韓国、イタリアなど多くの国の幼児教育研究にも関心を持たれ交流されてきました。上海の幼児教育視察に私も同行させていただきましたが、堂々とした講演のあとの親睦会でのチャージングなお姿が今も思い出されます。

先生とご一緒させていただいた月日を財産に、岡本先生はじめ保育関連の先生方と、これからの明星大学の保育者養成を引き継いでいきたいと思っております。本当にどうもありがとうございました。